歯科材料２　歯冠材料
管理医療機器　歯科切削加工用レジン材料　70821000

松風ブロック　ＨＣ　ハード　ＡＮ

【禁忌・禁止】
本材又は（メタ）アクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
［構成］
１）成分

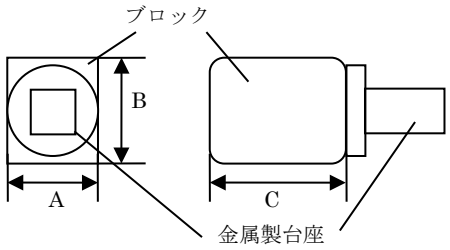
性状	成分
硬化物	UDMA、ウレタンジアクリレート、ジルコニウムシリケート、微粒子けい酸、着色材、その他

※無機充填材の平均粒径：2.9μm、体積分率：63.4vol％

２）色調：４色
A1-ML、A2-ML、A3-ML、A3.5-ML

３）形状

種類	寸法（mm）		
	A	B	C
14L	14.5	14.5	18.0



エナメル層、移行層、デンティン層の３層である。

［原理］
本材は、加圧加熱成型したコンポジットレジン製ブロックで、歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニットで切削加工する。

【使用目的又は効果】
歯科技工室設置型コンピュータ支援設計･製造ユニットとともに、歯科高分子製補綴物作製に用いる。
ただし、歯科用インプラント又は歯科用インプラントアバットメントの作製に用いるものを除く。

［具体的用途］
前歯ジャケット冠、ラミネートベニア、インプラント上部構造体の歯冠部分等の作製に用いる。前歯に使用する。

【使用方法等】
［使用方法］
１）スキャニング
スキャナによる支台歯模型の計測、もしくは光学印象採得装置による修復部位の光学撮影を行います。
スキャナ及び光学印象採得装置の使用方法については、附属の添付文書、取扱説明書に従うこと。
２）加工用データの作成
スキャンデータを基に、ソフトウェア上で修復物のモデリングを行い、加工用データを作成します。
３）加工
本材をミリングマシーンに設置し、加工用データを用いて加工を行います。ミリングマシーンの使用方法については、附属の添付文書、取扱説明書に従うこと。
４）余剰部分の削除
加工完了後、余剰なレスト部分を削除します。
５）形態修整
通法により研削材を用いて形態修整を行います。
※必要に応じて、高分子系歯冠用着色材料による着色、歯冠用硬質レジンによる追加築盛を行います。
６）最終研磨
通法により艶出し研磨を行います。

［使用方法に関連する使用上の注意］
１）本材は、コンポジットレジン製 CAD/CAM 用被切削材料であるため、専用の切削器具を使用すること。
２）合着、追加築盛、キャラクタライズを行う場合は、使用する製品の添付文書を確認し、歯科セラミックス用接着材料による表面処理を行うこと。
３）マージン部は 0.8mm 以上の厚みになるように、ディープシャンファー又はラウンデッドショルダーで形成すること。
４）切端部は 1.5～2.5mm、唇側面部及び舌側面部は 1.2mm 以上の厚みを確保するように形成すること。
５）口腔内への接着は、修復物の接着面に 0.2～0.3MPa の圧力で約 10 秒間のアルミナサンドブラスト処理後、接着用レジンセメントにより行うこと。
※接着安定性のため、修復物、支台歯側に適切なプライマー処理を行うことを推奨する。なお、処理方法については、使用する接着用レジンセメント又はプライマーの添付文書に従うこと。

【使用上の注意】
［重要な基本的注意］
１）本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
２）本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
３）本材への研磨作業の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。

［その他の注意］
１）完成して、患者に装着した修復物は、食習慣等にかかわって口腔内で表面着色したり、プラーク付着することがあるため、患者に対し口腔内の日常清掃を指導すること。
２）不正咬合やブラキシズム（クレンチング、グラインディング）の習癖を伴う症例への適応はしないこと。

【保管方法及び有効期間等】
［保管方法］
・本材は、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。
・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

［有効期間］
本材の使用期限は包装に記載のとおり。
［当社データによる］

※(例 ⌛YYYY - MM - DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売業者　株式会社　松風
住所　〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号　075-561-1112